

コンビ ニンナナンナ フィットだっこホルド T-95

Baby Soft Carrier (Facing Forward/Backward Type)

取扱説明書

ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
また、本書はいつでも見られる場所に大切に保管してください。
本品を他の方にお譲りになるときには、必ず本書もあわせてお渡してください。



もくじ

お使いいただく前に

ご使用前に	1
安全にお使いいただくために	2
各部のなまえ	4
各部の調節・使用方法	5
サイドバックルの使用方法	5
深さアジャストファスナーの使用方法 ...	5
わきベルトを調節する	6
ヘッドサポートの使用方法	6

対面だっこで使うには

対面だっこの準備	7
対面だっこのしかた	8
フルオープンからだっこ	8
サイドからだっこ	9

前向きだっこで使うには

前向きだっこの準備	11
お子さまをだっこする	11

はずしかた

はずしかた	13
-------------	----

お手入れ

お手入れ	裏表紙
------------	-----



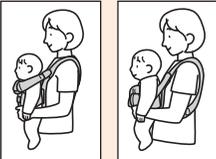
ご使用の前に

このたびはニンナンナ フィットだっこホールドをお買い上げいただき、ありがとうございます。
この製品は、お子さまを「だっこ」して、外気浴、買い物のときなどに使用するための1人用子守帯です。ご使用の前に、4ページの「各部のなまえ」をご確認ください。

お子さまを「対面だっこ」「前向きだっこ」できます。

使用できるお子さまの月齢について

(お子さまの発育により、同じ月齢でも体格や体重には個人差があります)

使用方法	参考月齢			体重
	首がすわる	腰がすわる	12ヵ月	
対面だっこ 基本形 アレンジ1 アレンジ2 	基本形 アレンジ1 首がすわってから ~ (12ヵ月頃まで)	アレンジ2 腰がすわってから ~ (12ヵ月頃まで)		11.3kgまで
前向きだっこ 基本形 アレンジ3 	基本形 首がすわってから ~ (12ヵ月頃まで)	アレンジ3 腰がすわってから ~ (12ヵ月頃まで)		

冬場など厚着をしますと、お子さまの体格によっては使用できなくなることがあります。お子さまの体格を考慮し、無理のない服装でご使用ください。

お
使
い
い
た
だ
く
前
に

安全にお使いいただくために

安全上の注意

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、使用者およびお子さまへの危害や物的損害を未然に防止するためのものです。

また注意事項は危害や物的損害の大きさや危害の度合いを示すもので、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。

いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

警告 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示します。

注意 誤った取り扱いをすると、人が傷を負ったり、物的損害が想定される内容を示します。

□ 枠(2~3ページ)の中に具体的な注意内容が書かれています。

⚠ 記号は警告・注意を促す内容があることをお知らせするものです。

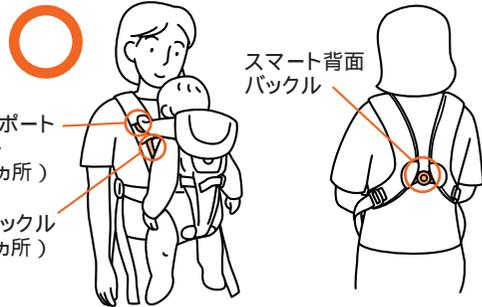
警告

ご使用の際は、以下のバックルを必ずとめてください。とめないで使用するとお子さまが落下するおそれがあります。

- ・ヘッドサポートバックル(左右2カ所)
- ・サイドバックル(左右2カ所)
- ・スマート背面バックル

ヘッドサポートバックル
(左右2カ所)

サイドバックル
(左右2カ所)



ご使用の際は、以下のベルトの長さはきつめに設定してください。お子さまと使用者の間にすき間がありすぎるとお子さまの予期せぬ動きに対応できず、落下するおそれがあります。

- ・胸回りアジャストベルト
- ・わきベルト(左右2カ所)
左右のベルトの長さを同じにしてください。

わきベルト



お子さまの乗せおろしは、必ず安全な場所で行ってください。

不安定な場所などでは、お子さまが落下するおそれがあります。



使用中に走ったり、飛び跳ねたり45°以上の前かがみや横曲げなどの無理な姿勢はしないでください。

お子さまが落下するおそれがあります。



安全にお使いいただくために(つづき)

警告

前向きだっこの時にお子さまのわきの下からシートまでの間が約4cm(指3本分)以上ある場合、前向きだっこの使用をしないでください。お子さまが落下するおそれがあります。



だっこするときは、必ず手で支えてください。

お子さまの予期せぬ動きに対応できず、落下するおそれがあります。



お使いいただく前に

安全にお使いいただくために

注意

授乳後約30分以内や、連続2時間以上の使用はしないでください。

お子さまや使用者に思わぬ負担をかけるおそれがあります。また、使用者が痛みや不快を感じたときは、使用を中止してください。



製品のほつれ、傷、やぶれを見つけたとき、またバックルなどの部品が破損したときには、すぐに使用を中止してください。

そのまま使用すると、故障や事故につながるおそれがあります。



製品を火の近くや屋外に放置しないでください。熱や雨水などでバックルや生地などが変質し、事故につながるおそれがあります。



お子さまをだっこする以外の目的では、使用しないでください。

破損・故障の原因になります。

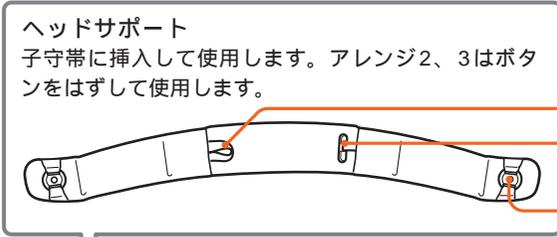


前向きだっこの際は、必ず「前向きアジャストホック」をとめてご使用ください。お子さまの足がうっ血するおそれがあります。

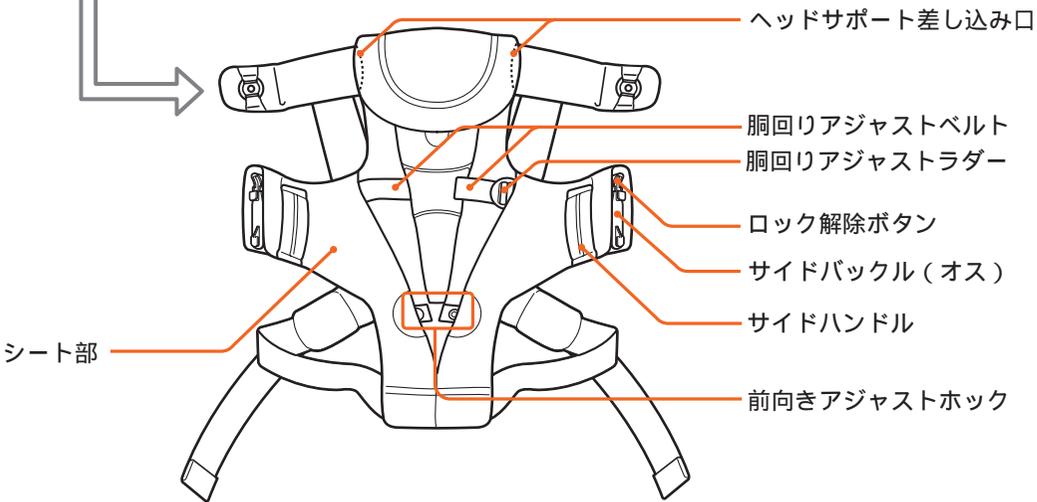


前向きアジャストホック

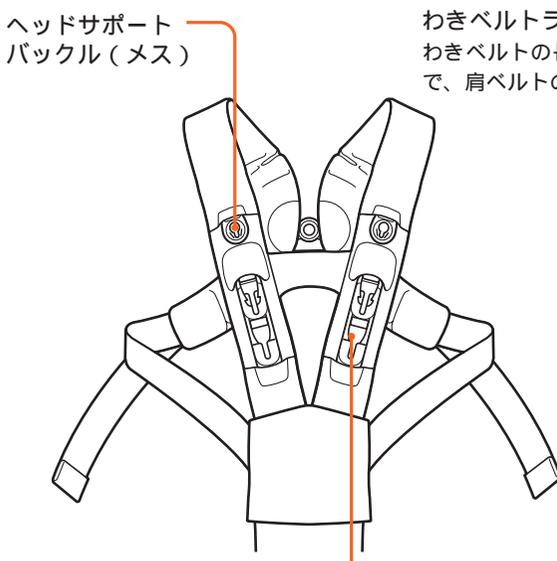
各部のなまえ



- ボタン穴
- ヘッドサポートアジャストボタン
- ヘッドサポートバックル(オス)

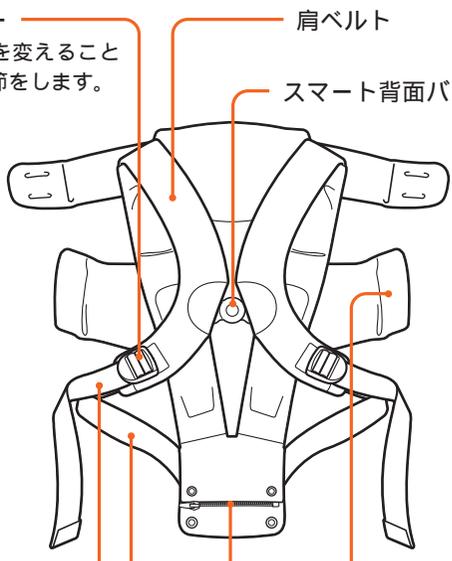


- ヘッドサポート差し込み口
- 胸回りアジャストベルト
- 胸回りアジャストラダー
- ロック解除ボタン
- サイドバックル(オス)
- サイドハンドル
- 前向きアジャストフック
- シート部



- ヘッドサポートバックル(メス)
- サイドバックル(メス)

わきベルトラダー
わきベルトの長さを変えることで、肩ベルトの調節をします。



- わきベルトラダー
- わきベルト
- 深さアジャストファスナー
- 肩ベルト
- スマート背面バックル
- サイドバックルカバー

各部の調節・使用方法

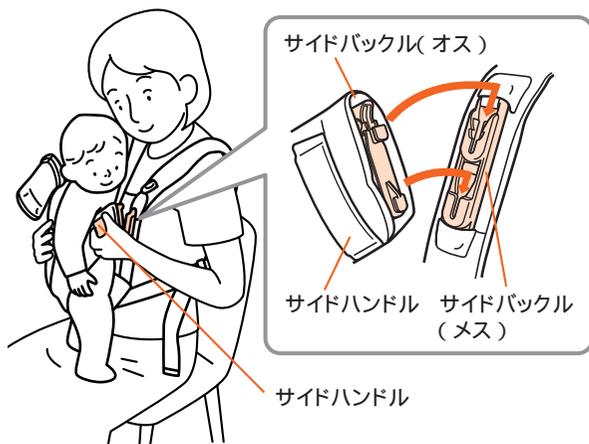
ここでは、「フィットだっこホルド」を最適な状態でご使用いただくため、各部の調節・使用方法を説明しています。

新機能 フィットサイドロック(特許出願中)

サイドバックルの使用方法

とめるとき

シートの端にあるハンドルを持ち、サイドバックル(オス)を肩ベルト側のサイドバックル(メス)に上から差し込みます。「カチッ」と音がするまで下方に差し込んでください。



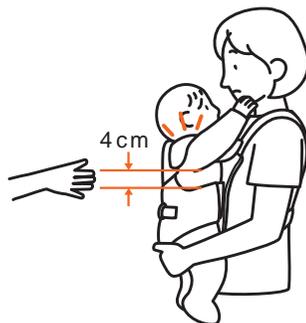
はずすとき

シートの端をめくり、サイドバックル(オス)上端のロック解除ボタンを親指と人差し指でしっかり押しながら上に引き上げます。その際、お子さまは反対側の手でしっかり支えてください。

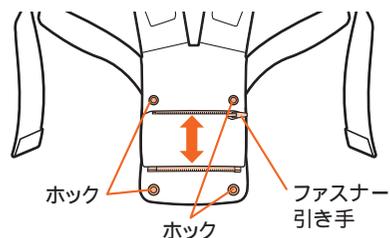


深さアジャストファスナーの使用方法

お子さまのわきの下からシートまでの間が約4cm(指3本分)以上ある場合や、お子さまの肩がヘッドサポートに当たってしまう場合は、深さアジャストファスナーを開けて使用してください。



深さアジャストファスナーを開いて使うときは、ホック(2カ所)をはずしファスナーを最後まで開け、はずしてください。

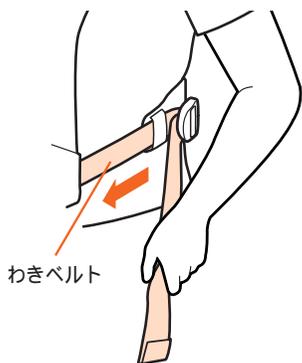


深さアジャストファスナーを閉じて使うときは、必ずファスナーの引き手を内側に倒してからホックをとめてください。

わきベルトを調節する

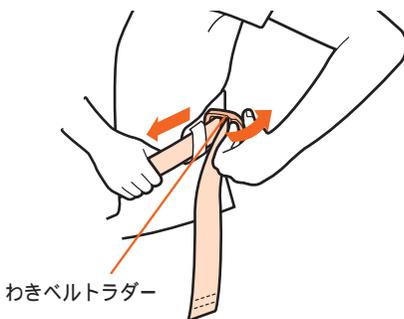
短くするとき

手で図のようにわきベルトのあまり部分を前方に引きます。わきベルトの方向に沿って引くようにすると引きやすくなります。



長くするとき

わきベルトラダーをわきベルトと垂直になるように立てて、わきベルトを引き戻します。

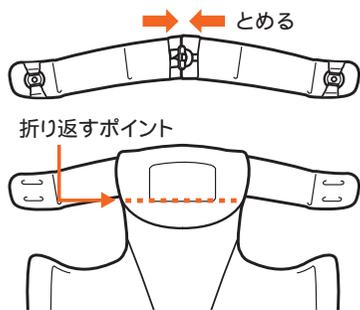


ヘッドサポートの使用方法

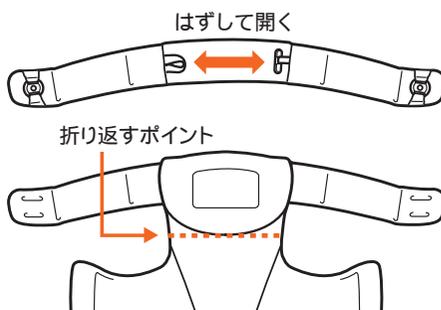
ヘッドサポートは、子守帯の5つの使いかた(基本形2種類、アレンジ3種類)に応じて長さを調節し、シートの上部和いっしょに折り返して使用することができます。

ヘッドサポートは必ず子守帯本体に挿入して使用してください。

ヘッドサポートを短くする場合



ヘッドサポートを長くする場合



基本形(対面)のみ、ヘッドサポートを折り返さずに使用します。

首がすわってから



腰がすわってから



対面だっこの準備

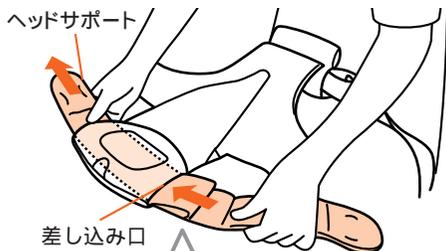
対面だっこで使うには

(首がすわってから) 11.3 kgまで

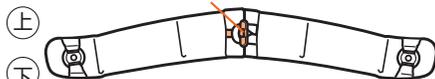
1

ヘッドサポートを子守帯に差し込む

ヘッドサポートアジャストボタンをとめて長さを短くし、図のようにシートに差し込みます。
(対面/基本形、アレンジ1の場合)
「ヘッドサポートの使用方法」(6ページ)をご覧ください。



アジャストボタンをとめて、短くします。

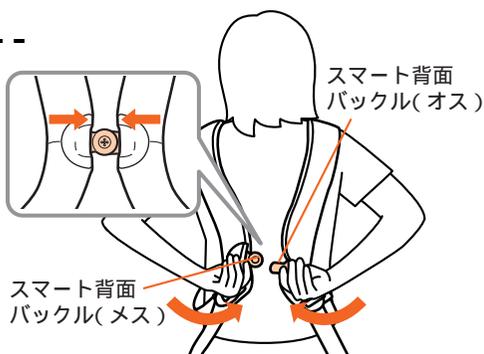


差し込むときは、ボタンのない側を内側にします。

2

スマート背面バックルをとめる

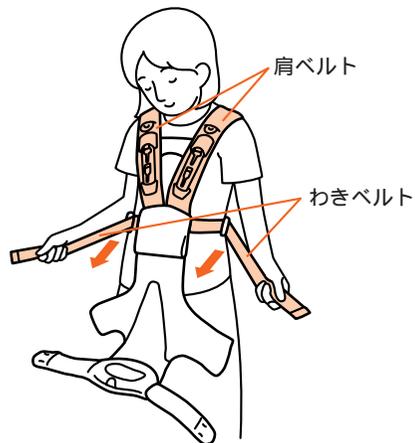
子守帯を使用者の身体に取り付けて、スマート背面バックルのオスをメスに「カチッ」と音がするまで差し込みます。



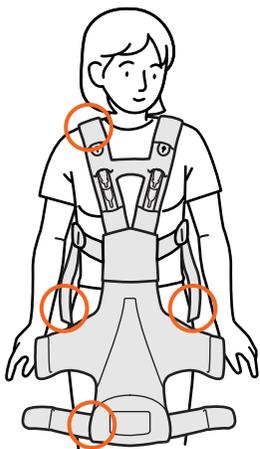
3

わきベルトの長さを調節する

わきベルトを図のように前方に引き、肩ベルトを身体にフィットさせます。
このとき左右のわきベルトのあまりの長さを同じにします。



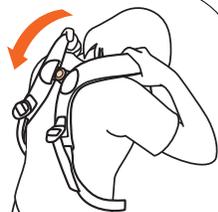
対面だっこの準備完了



お子さまと使用者が密着するようにわきベルトの長さはきつめに設定してください。
お子さまの予期せぬ動きに対応できず、落下するおそれがあります。



スマート背面バックルがとめにくい場合は、図のように先にバックルをとめてからベルトを装着することもできます。



対面だっこのしかた



お子さまの状態や使用者の使いやすい方法をお選びください。

お子さまが寝ている場合など.....フルオープンからだっこ(8ページ)

お子さまが起きている場合など.....サイドからだっこ(9ページ)

フルオープンからだっこ

1

お子さまをシート部に乗せる

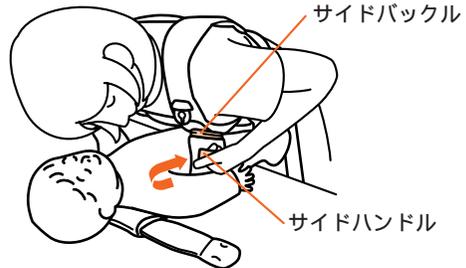
左右のサイドバックルをはずし、シートを開き安全な場所に置きます。
寝ているお子さまの頭を支えながらシートに乗せます。



2

片方のサイドバックルをとめる

かがんだまま、お子さまのわきの下でサイドハンドルを持ち、サイドバックルを「カチッ」と音がするまで差し込みます。



3

お子さまを抱きながらいすにすわり、もう片方のサイドバックルをとめる

お子さまを支えていない方の手でサイドバックルを「カチッ」と音がするまで差し込みます。

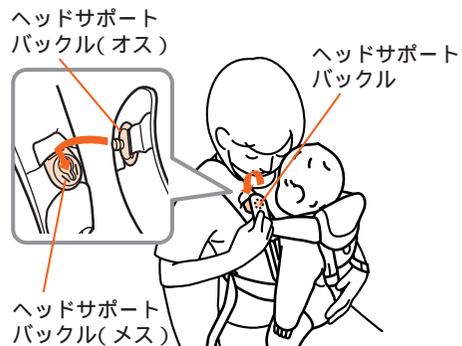


使用中お子さまが落下するおそれがありますので、サイドバックルは確実にとめてください。

4

ヘッドサポートバックルをとめる

左右のヘッドサポートバックル(オス)を、肩ベルトにあるバックル(メス)に差し込み、下方に「カチッ」と音がするまでスライドさせてとめます。



対面だっこで使うには

対面だっこのしかた





対面だっこのしかた

5

胸回りアジャストベルトを締める

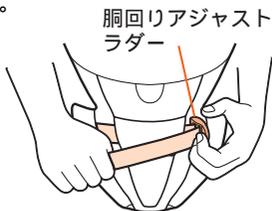
胸回りアジャストベルトのあまりを右手で引っ張り、お子さまにフィットさせます。



使用中お子さまが落下するおそれがありますので、胸回りアジャストベルトはお子さまの体型に合わせてしっかり締めてください。



- 胸回りアジャストベルトは左手で胸回りアジャストラダーを起すようにしながら、右手でベルトを引っばると締めやすくなります。



- 装着が完了したら、サイドバックルカパーがめくれていないことを確認してください。
「各部のなまえ」4ページをご覧ください。

- シートとお子さまの身体のすき間に、大人の指2~3本が入られることを確認してください。きつかったりゆるすぎる時は胸回りアジャストベルトの長さを調節してください。

- 胸回りアジャストベルトのあまりは、シート中央のベルト通しに差し込むことができます。



- 深さアジャストファスナーを閉じた状態でも、お子さまのわきの下にシートがあたってお子さまが子守帯に埋もれてしまう場合には、「おむつを2枚重ねる」、「お尻の下にタオルを敷く」などしてお子さまのお尻の高さを調節してください。

対面だっこで使うには

対面だっこのしかた

サイドからだっこ

1

片方のサイドバックルをとめる
いすにすわり、サイドバックルを「カチッ」と音がするまで差し込みます。

サイドバックル





2

お子さまを子守帯に抱き入れる

お子さまを向かい合うように抱いて、子守帯に入れます。



3

もう片方のサイドバックルをとめる

開いている方のサイドハンドルを持ち、お子さまのわきの下でサイドバックルを「カチッ」と音がするまで差し込みます。



警告 使用中お子さまが落下するおそれがありますので、サイドバックルは確実にとめてください。

4

ヘッドサポートバックルをとめる

「フルオープンからだっこ」の手順4(8ページ)をご覧ください。

対面だっこの装着完了



5

胴回りアジャストベルトをしめる

「フルオープンからだっこ」の手順5(9ページ)をご覧ください。

ヘッドサポートのアレンジとはたらき



基本の対面だっこ

ヘッドサポートを短くし、折り返さず
に使用します。
ヘッドサポートが、眠ってしまったお
子さまの頭をしっかりと支えます。



アレンジ 1

ヘッドサポートを短くし、外側に浅く
折り返すと、お子さまの視界を広げ
ることができます。



ヘッドサポート

アレンジ 2

ヘッドサポートを長くし、外側に
深く折り返すと、お子さまの腕を
出すことができます。

アレンジ2は、お子さまの腰が
すわってから使用できます。



前向きだっこの準備

前向きだっこで使うには

(首がすわってから) 11.3 kgまで)

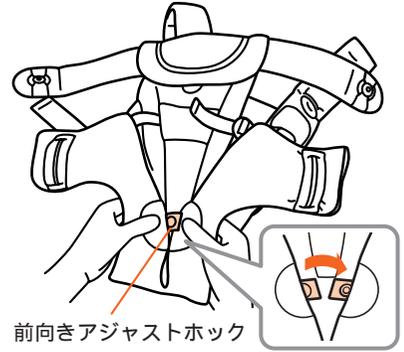
1

シートの股部をせまくする

シート中央部にある前向きアジャストホックをとめ、股部の幅をせまくします。



必ず「前向きアジャストホック」をとめてご使用ください。お子さまの足がうっ血するおそれがあります。



前向きアジャストホック

2

子守帯を装着する

「対面だっこの準備 (7ページ) の手順1~3をご覧になり、子守帯を使用者が装着してください。

お子さまをだっこする

1

片方のサイドバックルをとめる

いすにすわり、サイドバックルを「カチッ」と音がするまで差し込みます。

サイドバックル



2

お子さまを子守帯に入れる

お子さまを前向きに抱いて、子守帯に入れます。



3

もう片方のサイドバックルをとめる

お子さまを支えながら、もう片方の手で開いている方のサイドハンドルを持ち、お子さまのわきの下でサイドバックルを「カチッ」と音がするまで差し込みます。



使用中お子さまが落下するおそれがありますので、サイドバックルは確実にとめてください。



4

ヘッドサポートバックルをとめる
 ヘッドサポートを外側に1つ折りします。
 「ヘッドサポートの使用方法」(6ページ参照)
 左右のヘッドサポートバックルを、肩ベルトにあるバックル(メス)に差し込み、下方に「カチッ」と音がするまでスライドさせてとめます。

ヘッドサポートバックル(オス)



ヘッドサポートバックル(メス)

ヘッドサポートバックル



ヘッドサポート「1つ折り」します。

5

胸回りアジャストベルトを締める
 胸回りアジャストベルトのあまりを右手で引っ張り、お子さまにフィットさせます。

警告 使用中お子さまが落下するおそれがありますので、胸回りアジャストベルトはお子さまの体型に合わせてしっかり締めてください。



胸回りアジャストベルト

最後に折り目を正して完成です



前向きだっこの装着完了



子守帯がお子さまの口にかかってしまう場合は、「おむつを2枚重ねる」、「お尻の下にタオルを敷く」などしてお子さまのお尻の高さを調節してください。

ヘッドサポートのアレンジとはたらき

基本の前向きだっこ



ヘッドサポートを短くし、外側に浅く折り返すと、お子さまの肩をしっかり支えます。

アレンジ3



ヘッドサポート

ヘッドサポートを長くし、外側に深く折り返すと、お子さまの腕を出すことができます。

アレンジ3は、お子さまの腰がすわってから使用できます。

はずしかた

状況にあわせた方法をお選びください。

A : 使用者は子守帯を装着したまま、先にお子さまをおろす

はずしかた

1

安全な場所にすわり、左右のヘッドサポートバックルをはずす

ヘッドサポートを持ち、ヘッドサポートバックル(オス)を上方にスライドさせてはずします。



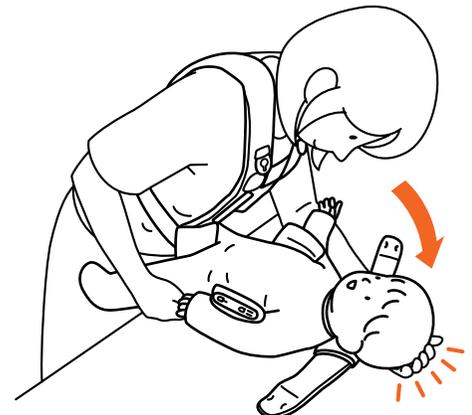
2

①片手でお子さまを子守帯の外側から抱き、もう片方でサイドバックルをはずす
5ページの「サイドバックルの使用方法」をご覧ください。

②お子さまを支えながら、もう片方のサイドバックルもはずす



③安全な場所にお子さまの頭を支えながら、そっとおろす



B：お子さまを乗せたまま、子守帯ごと使用者からははずす

はずしかた

1

安全な場所にすわり、お子さまを支えながらスマート背面バックルをはずす

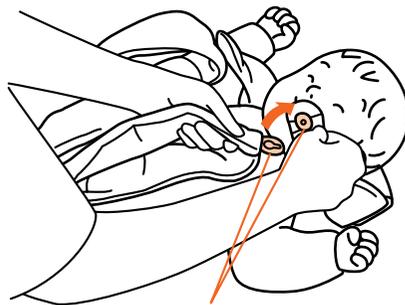
スマート背面バックルは、内側にロック解除ボタンがついています。親指で外側に向かって押すとはずれません。



スマート
背面バックル

2

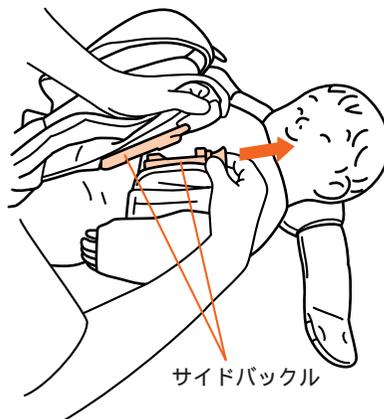
① 安全な場所にお子さまをおろし、左右のヘッドサポートバックルをはずす



ヘッドサポートバックル

② 左右のサイドバックルをはずす

5ページの「サイドバックルの使用方法」をご覧ください。



サイドバックル

お手入れ

日常のお手入れ

洗濯は水またはぬるま湯で押し洗いし、形を整えて日陰で吊干ししてください。
軽い汚れの場合は、湿らせた布でたたいて落としてください。



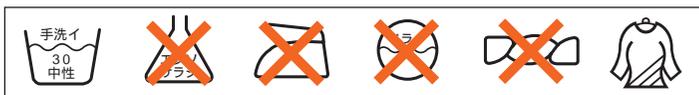
お子さまのよだれなどが生地につきますと、生地がかたくなる場合がありますのでその際には早めに洗濯してください。
かたくなった生地でお子さまの肌を傷つけるおそれがあります。

洗濯についてのご注意

色落ちすることがありますので、他のものとは別に洗ってください。また、つけ置き洗いも避けてください。
洗濯機、脱水機、乾燥機の使用はしないでください。バックルなどの破損につながるおそれがあります。

漂白剤、蛍光剤入りの洗剤は肌あれ・湿疹などの原因となりますので、使用しないでください。天然植物性の「コンビおむつ・肌着洗い」〔粉末洗剤、液体洗剤〕の使用をおすすめします。

洗濯表示



素材

製品カラー	主部位	外生地	メッシュ地	内生地	ベルト	バックル
モノトーン ブラック オレンジ チャコール		ポリエステル	ポリエステル	ポリエステル 綿	ポリプロピレン	ポリアセタール

コンビ株式会社

製品にお気付きの点がございましたら、コンシューマーブラザ (Customer Service Center) までご連絡ください。
コンシューマーブラザ (Customer Service Center)
〒339-0025 埼玉県岩槻市釣上新田271 TEL. (048) 797-1000 FAX. (048) 798-6109